

三菱地所リアルマネジメント(株)

作業届

マネジメントオフィス 宛

施設名

アクアシティお台場

(火気使用工事無)

年 月 日

裏面の「注意事項」を理解し、遵守して作業を致します。

社名

TEL

新規・継続

申請者

責任者

㊞

施工者	社名：	TEL：	責任者：
場所	階	区	テナント名 [C工事 (直営) テナント様了承済 ㊞]
工事名称	「工事中の消防計画届出者」 (提出 有・無) 月 日 [受理番号：]		
日時	月 日 [曜日] ~ 月 日 [曜日]	立会責任者	[携帯電話番号]
	時 分 ~ 時 分 ・ 時 分 ~ 時 分	ELV使用	貨物 [号機] 客用 [号機]
作業内容	添付書類 有・無	作業者	社名：
			氏名：
			荷捌き利用 (有 ・ 無)
			車種
			台数 台
			他 名 重量 トン

特殊作業チェックリスト

※火気作業を行う場合は、「火気使用工事有」の作業届を提出願います。

騒音 振動 作業	有・無	日 時	月 日 () : ~ : . 月 日 () : ~ :
		影響範囲	騒音： 振動：
		作業内容	1.機械研り 2.コアボーリング 3.手研り 4.アンカー打 5.その他 []
		埋設配管等の確認	未・済 []
停止作業	有・無	日 時	月 日 () : ~ : . 月 日 () : ~ :
		影響範囲	
		作業内容	1.停電 2.空調停止 3.断水 4.防災 [] 5.その他 []
		対処等	
粉塵 臭気 作業 (塗)	有・無	日 時	月 日 () : ~ : . 月 日 () : ~ :
		影響範囲	粉塵： 臭気：
		作業内容	粉塵： 臭気： (種類 臭)
		対処等	粉塵： 臭気：
アスベスト 影響作業	レベル 1・2・3	日 時	月 日 () : ~ : . 月 日 () : ~ :
	有・無	影響範囲	濃度測定 有・無
		作業内容	
		対処等	
天井点検口開閉 システム・在来	有・無	影響範囲/ 作業内容	
道路使用許可	有・無	影響範囲/ 作業内容	
機械警備解除	有・無	対処等	警備会社・立会他 () 【手配済・未手配】 臨時警備 有【手配済・未手配】・無
設備の変更	有・無	防災設備の変更/その他の変更 []	
		電気メーターの新設/水道メーターの新設/ガスメーターの新設/熱量メーターの新設	
施設側 開扉	有・無 (専用室・共用室・設備室)		施設側開扉者
	場所： 区他	警備員・設備員・管理者	
備考 要望事項	テナント開扉承認責任者		テナント立会 (有 ・ 無)
			㊞ 様施設側開扉了承済
	承認	回覧	返却 受付

※ 作業届は少なくとも施工7日前(土日・祝祭日含まず)迄に管理者に提出願います。
 ※ 作業届は1工事毎に、原則1週間以内の工期分毎にご提出願います。
 ※ C工事(テナント直営)の場合はテナント担当者様の捺印をお願いします。

※ 作業内容は具体的に記入し、チェックリスト該当項目は○で囲んで下さい。
 ※ 注意事項を守れない場合は作業を中止願う場合があります。
 ※ 立会責任者の携帯電話番号は本作業に係る連絡の目的にのみ利用致します。

注 意 事 項

I 事前打合せ

1. 工事責任者は工事に先立ち、必ず工事図面(2部)及び必要に応じて施工計画書を提出し、管理者と十分お打合せ願います。
2. 床荷重には制限がありますので、重量物を扱うときは、予め管理者と打ち合わせ、許可をお取り願います。

II 作業届の提出

1. 工事実施に際しては、所定の作業届を少なくとも施工7日前(土日・祝祭日含まず)迄に管理者へ提出願います。作業届の提出されていない工事は実施出来ません。
2. 届出の日時は厳守し、変更の場合は直ちに当社担当者に連絡願います。
3. **消防署に「工事中の消防計画届出書」及び条例に基づく各種届出が提出済であることを再確認願います。**

III 一般的注意

1. 工事責任者は工事開始前にこの注意事項を作業員全員に周知徹底願います。
2. 工事の開始前及び終了後は速やかにその旨を施設の管理室(防災センター)に連絡願います。
3. 工事には届出の責任者または立会責任者が常時立会い、火災、漏水等の事故が無いよう安全に注意願います。
4. 当社の担当者及び施設の管理関係者は、いつでも工事現場に立ち入り出来るものとし、その指示には必ず従うように願います。
5. 必要な場合は注意喚起(立入禁止等)を明確に表示願います。
6. **休憩時間中であっても現場には必ず一人以上の作業員を配置願います。**

IV 防火上の注意

1. 施工場所には必ず消火器・水バケツ等を用意し、喫煙は安全な吸殻入れを配置した休憩所等一定の場所で行い、喫煙しながらの作業は厳禁します。
2. 吸殻は工事終了後、注水し安全をその都度、確認した上、必ず所定の場所へお捨て願います。
3. 非常警報設備、消火栓等の位置を確認し、その使用方法を熟知しておくように願います。
4. 発火性の強い接着剤、塗料等の使用は空調時間中は原則としてお断りします。

V 作業上の注意

1. 廊下その他の共用部分を作業場として使用しないように願います。止む得ず使用する場合は管理者に申し出て許可をお取り願います。尚、使用の際は防火、防災、防塵、騒音、振動等に注意願います。
2. 騒音、振動、塵埃等の出る研り、釘打ち等は原則として休日又は夜間に行ない、他に迷惑をかけぬよう注意願います。周囲又は当社から要請があった場合は、直ちに工事を中止願います。
3. 臭気性の強い塗料等の使用は空調時間中は厳禁致します。
4. 工事に使用する電動工具は、感電、回路短絡等を防止するため使用に先立ちコード被覆や挿込みプラグ、アースクリップ等の損傷をチェックし、不良部分は修理の上、使用願います。

5. 工用仮設電源を使用する場合は、管理者に相談の上有効に作動する漏電遮断器を取付け、仮設配線は被覆の安全な電線を使用し、ランプにはガードを取付けて使用願います。
6. 配管系統に変更を加える工事に際しては漏溢水、ガス漏れのないよう十分注意願います。
7. ドライピットの使用については、壁貫通や埋込配管等の危害防止のため原則として禁止しますが、止む得ず必要な場合は予め管理者と打合せ、承認を得た上で使用願います。
8. 工事による残材、残土、研りくず、かんなくず等は必ず袋又は箱に入れ建物外に搬出処理し、施設内塵芥処理室には捨てないように願います。また工事により汚損した場所は工事業者に於いて責任をもって清掃願います。
9. アスベスト影響範囲で作業を行なう場合は管理者と事前に打合わせ、指示された内容を遵守願います。

<アスベスト作業 レベルの分類>

【レベル1】の作業

著しく発じん量の多い作業であり、作業場所の隔離や、高濃度の粉じん量に対応した防じんマスク、保護衣を適切に使用するなど、厳重なばく露防止対策が必要なレベル。

【レベル2】の作業

比重が小さく、発じんしやすい製品の除去作業であり、レベル1に準じて高いばく露防止対策が必要なレベル。

【レベル3】の作業

発じん性が比較的低い作業であるが、切断等の作業においては発じんを伴うため、湿式作業を原則とし、発じんレベルに応じた防じんマスクが必要なレベル。

10. 屋上、外壁、高所での作業は、墜落、飛来、落下事故の無いよう十分注意し、使用工具には落下防止ワイヤーを必ず使用願います。

VI 提出時の添付資料

- 提出の際は当社の担当者と打合せの上、必要に応じて本届の他に以下の書類(部数は当社指示による)を添付願います。
- ・ 工事場所の案内図(工事階の平面図に、工事範囲、出入口、搬出入経路、作業場所毎の具体的な作業内容を記入。養生計画図との兼用可)
 - ・ 養生計画図(養生の範囲を平面図上に示したものと及び養生方法の説明図等)
 - ・ 作業員名簿(監督者の工事期間中の連絡先を併記)
 - ・ 工事体制表(組織図)
 - ・ 工程表

VII 非常時の通報連絡

1. **万一火災発生の場合は直ちに消防署(119番)に連絡すると共に初期消火に当たり、同時に管理室(防災センター)等、当社関係者にも連絡願います。**
2. 人身事故、その他重大事故が発生した時は、管理室(防災センター)に急報すると共に応急措置を実施願います。

以上